



令和8年1月30日(金)
静岡大学教育学部
附属静岡小学校
1年 学年だより 2月号

自分たちの「しあわせ」相棒さんの「しあわせ」

今、しあわせの子どもたちは「6年生を送る会」「1年生のつどい」という2つの大きな行事に向けて準備や練習を進めています。どちらも各クラスのキャプテンが中心となり、話し合いや練習を進めています。

「6年生を送る会」では、休み時間に各クラスのキャプテンがクラスの考えをもちより話し合っています。相棒学年である6年生にどうすれば「ありがとう」「中学校でも頑張ってるね」などの思いを伝えることができるのか日々試行錯誤しています。また、キャプテンの話をクラスの子どもたちも同じように受け止め、プレゼント作りやダンスの練習に力を注いでいます。プレゼントのアルバムに貼る写真を撮るために「運動場で撮らない?」「一緒にランドセルを背負って撮ろうよ」と相棒さんと相談しながら撮影場所やポーズを考えています。

「1年生のつどい」では、それぞれのクラスで話し合いや練習が始まっています。3組では、自分たちのクラスがこれまでどんなことを頑張ったり大切にしてきたりしたのかを振り返るところから話し合いをスタートさせました。「みんなは普段から言葉遣いを気を付けていると思うんだ」「どんなことも諦めないのいいところだよ」「学校のきまりを守ることを大切にしてきたんじゃない?」などとたくさん意見が出てきました。どの内容で発表するのかを決めきれず話し合いが停滞したとき、Aさんが「みんなはいいことをすると、(自分にとって)いいことがあるって思っているんじゃないの?」と発言しました。その発言を聞いたBさんが「じゃあ、一番いいことが多いものにしよう」と提案し、話し合いが再び動き出しました。「ふわふわ言葉を使うとみんながすっきりするよ」「諦めないと勉強の力がパワーアップするよ」「きまりを守ると安全に生活できるよ」とそれぞれの考える「いいこと」すなわち「しあわせ」を出し合いました。ここに出てきたものは、この1年間学年名である「しあわせ」に向かって子どもが意識したことの具体的な姿です。どれも大切にしてきたことであるが故にこの話し合いは1時間では終わらず、次の時間にも続きました。30人以上で何か一つのことを決めることは決して簡単ではありません。大人から見れば遠回りだと感じることもあるかもしれませんが、それでもそれぞれのクラスの子どもたちは初めてのつどいに向け、少しずつ歩を進めています。

この話し合いの後も「じゃあどんな場面にしようか」や「発表の仕方は何がいいのだろう」など子どもたちが選択しなければならないことが次々と出てきました。一人ひとりの思いも強く、意見がぶつかり合うこともありましたが、その度にみんなまで話し合って決定しています。つどいに向かう中で出会う様々な壁をどう乗り越えていくか考えているこの過程も本番同様に価値あるものです。2月25日に予定している「1年生のつどい」は、しあわせの子どもたちにとって初めての「つどい」と同時に、今のクラスとしての1年間の集大成の場でもあります。「しあわせ1組」「しあわせ2組」「しあわせ3組」それぞれのクラスがどんなことを伝えるのか楽しみにしていただけたいと思います。

引き続き、保護者の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。